

日本遺産 鯨とともに生きる

黒潮がおどる熊野灘。
南国の陽光きらめくこの海には、
古くから鯨が姿を見せていた。
人々は巨体を畏れながらも、
やがて立ち向かうようになる。
一方で、彼らは誰よりも鯨を大切にし、
鯨と人の物語が、南の海に紡ぎ出された。

古式捕鯨の見張り台があった、太地町の梶取崎から眺めた熊野灘。写真奥に見える岬は燈明崎



紀伊半島の南東部、黒潮が流れる熊野灘沿岸の人々は、昔から鯨とともに生きてきました。一方で江戸時代初期に組織的な捕鯨が始まり、地域の一大産業へ発展。大いなる海の恵みは人々の暮らしを支え、一方で人々は鯨に感謝し、巨体を余すところなく活用してきました。

そして、捕鯨は現在も続けられています。地域には鯨と人の長い関わりを示す史跡も残り、鯨にまつわる祭りや伝統芸能、食文化も受け継がれています。

熊野に息づくこうした捕鯨文化のストーリー「鯨とともに生きる」が、2016年4月、文化庁の日本遺産に認定されました。物語の舞台は、和歌山県の新宮市と、太地・那智勝浦・串本の3町。なかでも太地は、鯨の町としてよく知られるところです。

本州最南端のこのエリアには、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成する熊野三山や熊野古道もあります。海の日本遺産と、山の世界遺産が織り成す魅力たっぷりの熊野へ、鯨と人の物語をたずねてみませんか！



1 豊漁を願う飛鳥神社の例大祭(→P6)。樽みこしを担いだ若者衆は町を練り歩いた後、海へ入り、身を清める 2 那智三峰の一つ、妙法山から望んだ熊野灘 3 捕鯨の様子を勇壮に再現する三輪崎の鯨踊(→P6) 4 梶取埼灯台(→P15)のてっぺんには「風見鯨」が付いている 5 梶取崎園地(→P15)にあるくじら供養碑 6 宇久井半島の山見台跡群(→P5)

Contents

- 日本遺産ストーリーと、祭り・伝統芸能 …P4
- 「鯨とともに生きる」の舞台へ! …P7
- 鯨を見る・学ぶ・楽しむ …P8
- 周遊モデルプラン① 海の世界遺産と山の世界遺産 …P10
- 周遊モデルプラン② 熊野灘の潮風を感じる町歩き …P14
- 周遊モデルプラン③ 本州最南端で絶景ドライブ …P16
- 周遊モデルプラン④ 日本遺産・世界遺産& ジオパーク ウォーク …P18
- 熊野のおすすめ宿 …P20
- MAP、おみやげ処 …P22
- 和歌山アクセスガイド …P23

日本遺産の構成文化財(一部) /

日本遺産 梶取崎狼煙場跡

●かんどりざきのろしばあと
梶取崎の先端には、鯨船との通信に用いた狼煙のかまどの跡が残っている。
⑤東牟婁郡太地町太地 ⑥バス停梶取崎からすぐ【MAP】P22C4



日本遺産 捕鯨の祖 和田頼元墓

●ほけいのそ わだよりもとはか
熊野灘地域における古式捕鯨の祖、和田頼元の墓。順心寺境内にある。
⑤東牟婁郡太地町太地 ⑥バス停漁協前から徒歩約5分【MAP】P22C4



日本遺産 飛鳥神社

●あすかじんじや
捕鯨にまつわる伝統行事が受け継がれる。豪華な本殿は太地町文化財。
⑤東牟婁郡太地町太地 ⑥バス停漁協前からすぐ【MAP】P22C4



日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の伝統・文化を語る「ストーリー」を日本遺産として文化庁が認定する制度。そのストーリーのもととなる有形・無形の文化財を積極的に活用して、地域振興につなげることを目的に、2015年に創設。これまでに「鯨とともに生きる」を含む104件が認定されている(2024年12月末日現在)。



表紙写真

- 上段 『座頭鯨網掛之図』 太地町立くじらの博物館蔵
古い絵巻を昭和40年代に模写したもの。燈明崎前の漁場で、潮を吹くザトウクジラに網を掛ける様子が描かれている
- 下段 『紀州太地浦 鯨大漁之図・鯨全体之図』 太地町立くじらの博物館蔵
文久元年(1861年)作の絵巻。写真は捕鯨舟やさまざまな漁具を製作している場面。絵巻は長さ約13mあり、ほかに11種類の鯨の図、漁の様子などが描かれている

日本遺産 鯨とともに生きるストーリー

日本遺産「鯨とともに生きる」は、熊野灘の捕鯨文化を伝えるストーリー。地域の有形・無形の文化財(日本遺産の構成文化財)をもとにまとめられた、その物語をひも解いてみよう。

古式捕鯨の歴史

日本人にとって鯨は古来、海の彼方より富をもたらす神「えびす」だった。人々はときおり浜辺に打ち寄せられる鯨を、ありがたみ糧としたが、暮らしたために、やがて自ら捕鯨する道歩み始める。

黒潮が流れる熊野灘の沿岸地域でも鯨は古くから姿を見せており、江戸時代に入ると組織的な捕鯨が始まった。創始したのは、太地の郷士・和田忠兵衛頼元と伝わり、今では捕鯨の祖と崇められている。

当初は、鯨を銛で突き取るだけだったが、のちに太地角右衛門によって網取り法が開発されると、捕鯨は飛躍的に発展した。当時の捕鯨は、船団を組んで鯨を囲み、網を絡めた後、銛を打ち込むものだ。船団といっても、今は比べ物にならない手漕ぎの小舟。数種類の銛をたくさん打ち込んで、最後は大きな剣でとどめを刺したという。

熊野水軍の末裔が活躍

命の危険を伴うこの漁を担ったのは、古くは源平合戦で勇名を馳せた熊野水軍の末裔たちといわれる。勇敢で団結力が強く、造船や操船技術に秀で、海の知識は豊富。また泳ぎにも長けている。このマンパワーが捕鯨の原動力だった。

捕鯨が盛んになった理由として地理的条件も見逃せない。熊野灘沿岸は複雑なリアス式海岸が続いており、背後には急峻な山々が迫っている。つまり、沿岸海域を回遊する鯨をいち早く発見できる高台があり、また鯨を引き揚げられる浜があることが要因となった。

鯨がもたらした繁栄

捕鯨は500人以上もの人々が役割を分担して行った。まさに地域をあげての一大産業だったのだ。その役割は、「山見台」といわれる高台から鯨を見張る者(山見)、鯨を打ち込む者(羽指)、仕留めた鯨を運ぶ者、用具を管理・修繕する者など、実にさまざま。解体・加工は「鯨始末係」が担い、肉の大半は塩漬にして出荷。骨や皮から鯨油をとり、ヒゲや筋は道具の材料にするなど、巨体をありがたく受け取り、余すところなく活用した。

鯨は「二頭で七郷が潤う」といわれるほど莫大な富をもたらした。年間で95頭が捕れた天和元年(1681年)には、6000両を超す利益が得られたという。直接的に捕鯨を行う者の背後には、船大工や鍛冶屋、鯨販売を司る人々もおり、捕鯨は地域全体を潤した。繁栄ぶりは遠く離れた大阪にも伝わり、井原西鶴は著書「日本永代蔵」に太地の繁華を記している。

日本遺産の構成文化財(一部)

日本遺産 太地角右衛門の墓

●たいじかくえもんのはか
古式捕鯨の中興の祖となった太地角右衛門の墓。順心寺境内にある。
④東牟婁郡太地町太地 ⑤バス停漁協前から徒歩約5分 [MAP]P22C4



日本遺産 鯨供養碑

●くじらくようひ
古式捕鯨時代に建立された現存する唯一の供養碑。東明寺の境内に立つ。
④東牟婁郡太地町太地 ⑤バス停漁協前から徒歩約4分 [MAP]P22C4



日本遺産 刺し加子墓

●さしかこのはか
太地氏が千百大(まさと)という加子(かこ=船員)のために建立した。
④東牟婁郡太地町太地 ⑤バス停漁協前から徒歩約8分 [MAP]P22C4



日本遺産 古式捕鯨 高塚連絡所跡

●こしきほけい たかつかれんらくしよあと
山見相互の連絡をするための中継所としての役割を果たした施設跡。
④東牟婁郡太地町太地 ⑤バス停高塚からすぐ [MAP]P22C4



日本遺産 宇久井半島の山見台跡群

●うぐいはんとうのやまみだいあとぐん
三輪崎の鯨方の拠点だった山見台跡。ここから鯨を見張っていた。④東牟婁郡那智勝浦町宇久井 ⑤JR宇久井駅から車で約5分、宇久井ビジターセンターに駐車し、徒歩約15分 [MAP]P22B1



日本遺産 古座組鯨方石宝

●こざぐみくじらかたせきほう
古座鯨方が信仰した祠。喜多野又兵衛板書(→申本町史編纂資料)を納めていた。④東牟婁郡申本町古座 ⑤バス停古座神社前からすぐ。またはJR古座駅から徒歩約22分 [MAP]P22A2



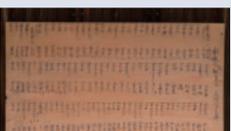
日本遺産 申本町史編纂資料

●くしもとちようしへんさんしりよう
古座鯨方に関する目録や日記などの文書類、鯨や舟などを描いた鯨絵巻、喜多野又兵衛板書からなる。非公開。

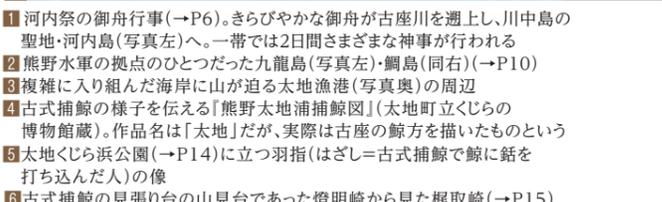


日本遺産 有田八幡神社寄進札

●ありたはちまんじんじゃきしんぶだ
有田八幡神社の遷宮時における寄進札。鯨組と羽差の名が見え、17世紀中頃の鯨方の様子を今に伝える。非公開。



※その他の文化財は、P3、P10~19で紹介しています



捕鯨文化を伝える 日本遺産の祭りと伝統芸能

受け継がれる捕鯨文化

この地域では、太地(現太地町太地)のほか、三輪崎(現新宮市三輪崎)、古座(現串本町古座)で古式捕鯨が行われていた。

規模こそ違うものの、このうち太地では古式捕鯨の伝統を受け継ぎながら、現在も近海での小型鯨類の捕鯨が行われている。また熊野各地に捕鯨の歴史と文化を伝える有形・無形の文化財が残されており、ストーリーをたどることができる。

鯨を見張った山見台跡、狼煙場跡などの史跡からは、勇壮な古式捕鯨が偲ばれる。鯨の供養碑は、人々が鯨をいかに大切に、感謝していたかがわかる。

人と鯨の結び付きの深さをより感じさせるのは、鯨にまつわる祭りや伝統芸能だ。豪華に飾り立てた御舟の渡御、鯨を捕る様子を勇壮に再現する鯨踊りなど、この地にはさまざまな行事が受け継がれている。新宮市や太地町では、多くの小学生が郷土学習の一環として鯨踊りを習っている。

熊野灘沿岸の人々にとって、鯨は今も身近で特別な存在。400年の歴史をもつ捕鯨文化はしっかり根を張り、息づいている。



1 宵宮の夜籠り神事。御舟が夜半過ぎまで河内島を周回する
2 輪になって踊る「殿中踊」は鯨を取り巻く様子を表している
3 11月の「太地浦くじら祭り」で披露される
4 今に受け継がれる伝統行事には子供たちも参加する
5 的をめがけて弓を放つ神事。行事後は参加者が的の端を持ち帰る

「鯨とともに生きる」の舞台へ!

太地町の玄関口にある「道の駅たいじ」は、熊野灘の捕鯨文化の情報発信も行うスポット。日本遺産ストーリーの舞台・熊野への旅は、ここから始めてみよう。日本遺産ウォークツアーもチェック!

写真1

開催日 7月4日曜とその前日(宵宮)
日本遺産 河内祭の御舟行事
●こうまつりのみふねぎょうじ
豪華に装飾された御舟が水上を渡御。捕鯨が地域の誇るべき産業だったことを物語る。国重要無形民俗文化財。
【場所】河内島ほか【MAP】P22A2

写真2

開催日 9月中旬
日本遺産 三輪崎の鯨踊
●みわさきのくじらおどり
網を投げて鯨を取り巻く形を表す「殿中踊」と、鉾突きを表現する「綾踊」がある。和歌山県無形民俗文化財。
【場所】三輪崎漁港【MAP】P22B2

写真3

開催日 11月第1日曜
日本遺産 太地のくじら踊
●たいじのくじらおどり
綾棒を鉾に見立てて打ち振る「綾踊り」と、鯨をつかみ取る「魚踊り」がある。和歌山県無形民俗文化財。
【場所】太地漁港【MAP】P22C4

写真4

開催日 1月成人の日の前日の日曜
日本遺産 鹽竈神社のせみ祭り
●しおがまじんじやのせみまつり
的に取り付けた「せみ」(鯨を薬で表したものを白装束の子どもが引き抜いて走る。
【場所】鹽竈神社【MAP】P22A2

写真5

開催日 2月14日直前の土曜
日本遺産 浜の宮のお弓祭り
●はまのみやのおゆみまつり
熊野三所大神社の例祭。神事の後で、的に取り付けられた「背美」を奪い合う。また的を壊して持ち帰る。
【場所】熊野三所神社【MAP】P22B1

その他の関連行事

開催日 1月13日
飛鳥神社のお弓神事
●あすかじんじやのおゆみしんじ
航海安全や大漁を祈願する神事。セミクジラを模した木製の縁起物「せみ」を奪い合う。
【場所】飛鳥神社【MAP】P22C4

開催日 8月14日
勇魚祭
●いさなさい
太地浦で行われていた「網掛け突き取り捕鯨法」を全長約9mの鯨模型と釣り舟で再現。
【場所】太地漁港【MAP】P22C4

開催日 10月体育の日三連休
飛鳥神社例大祭
●あすかじんじやのたいさい
若者衆がお神酒を入れた大樽・小樽のみこしを担いで町内を練り歩き、大漁を感謝し、豊漁を祈る。
【場所】太地町内【MAP】P22C4

日本遺産と地域の魅力を発信! 道の駅たいじ

●みちのえきたいじ

太地町の玄関口にあたる国道42号沿いにある道の駅。古式捕鯨アニメが見られる情報コーナー、気軽に鯨料理を味わえるフードコート、直売所などがあり、日本遺産や地域の魅力を日々発信。「日本一きれい」がコンセプトのトイレも注目!
☎0735-29-7690 ⑤東牟婁郡太地町森浦143-1 ⑥JR太地駅から徒歩約10分 ⑨9時~17時(フードコートは、モーニング7時~10時、喫茶&ソフトクリーム7時~16時30分、お食事平日11時~13時30分LO、休日11時~14時30分LO。トイレは24時間利用可) ⑧無休【MAP】P22C4

電気自動車の充電器や、Wi-Fiも備える



カラフルなモザイクタイルがかわいいキッズトイレ

情報コーナー

古式捕鯨アニメーションや、太地町の紹介ビデオ(日本語版・英語版)をモニターで順次上映。日本遺産を紹介するパネルも展示され、観光パンフレットも取り揃える。



アニメはインフォメーションのモニターで上映される

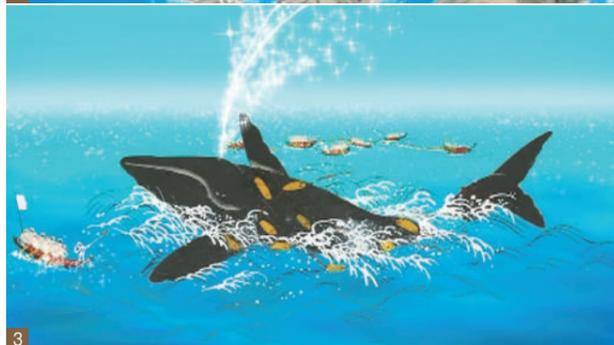
古式捕鯨アニメも見られる!



1



2



3

1 アニメは古い鯨絵巻などをもとに創作。舟を作るシーンなどもあり、捕鯨が地域全体を支える産業だったことがわかる 2 見張り台の山見台では鯨を発見すると、狼煙をあげて各所へ連絡 3 海上では船団が鯨を取り囲んで仕留めた

フードコート

明るく開放的なフロアで、自慢の鯨料理を味わえる。鯨料理の人気1・2位を争うのは鯨スタミナ丼と、鯨竜田揚げ定食。マグロ丼や地魚料理などもある。



ソフトクリームも人気!



那智黒あめの黒蜜を
使ったご当地ソフト
380円



鯨スタミナ丼。カラッと揚げた鯨肉に特製ソースをからめて



鯨竜田揚げ定食。スタミナ丼と同じく、お肉はやわらかくて美味

直売所

地元の朝どれ鮮魚や鯨肉、干物、農産物などを直売。太地町をはじめ熊野各地の特産品やみやげ物も用意されている。



くじらの骨 1万円
実物の骨を使った1点もの

本醸造 清酒いさな 1242円(720ml)
太地町が企画し、新宮市の尾崎酒造が醸造。熱かんがおすすめ

鯨ハム 432円
おつまみやサンドイッチの具にもおすすめ



【問い合わせ】

新宮市観光協会 ☎0735-22-2840
太地町観光協会(太地町産業建設課内) ☎0735-59-2335
南紀串本観光協会 ☎0735-62-3171

地元ガイドがわかりやすく解説 日本遺産ウォークツアー

地元をよく知る日本遺産ガイドの案内で、日本遺産の構成文化財を巡る。捕鯨の歴史・文化をわかりやすく学べ、地域の魅力に触れられる。



鯨を見る・学ぶ・楽しむ！

日本遺産の舞台をたどるだけでなく、熊野では実際に鯨と出会うこともできる。鯨について学べる博物館では、ふれあいイベントやショーも開催。熊野灘のクジラに出会えるホエールウォッチングや体験は感動必至！



黒潮が流れる
熊野灘で超感動体験！

海に潜るときに見られる「テールアップ」は迫力満点(南紀マリンレジャーサービス)

ホエールウォッチング

黒潮が最も近く接岸する熊野灘ではホエールウォッチングを楽しめる。春から秋にかけて、大型のマッコウクジラやザトウクジラ、ゴンドウクジラなどが集まり、イルカやマンタなども見られる。遭遇できるかは天候と運次第だが、感動を求めてチャレンジ！

南紀マリンレジャーサービス

●なんきまりんレジャーサービス
ガイド歴20年以上のベテラン船長が案内。万一出会えなかったときは次回割引券を配布(新鮮な魚をサービスする場合もあり)。所要約4時間。
☎0735-54-0725 ⑤東牟婁郡智勝浦町宇久井285-2 ⑥JR宇久井駅から徒歩約10分 ⑦3月下旬~9月下旬の7時に出航(土・日曜、祝日は6時に出航)※前日までに要予約。荒天時などは休航 ⑧大人(中学生以上)6500円、小学生5000円、幼児(3歳以上)2000円【MAP】P22B1



シーカヤック

太地町森浦湾では、放し飼いにされているクジラやイルカを間近で見ることができます。日常生活では味わえない、特別な体験をお楽しみください。

太地フィールドカヤック

●たいじふいーどかやつく
初心者でも気軽に楽しめるシーカヤックや、海上を散歩するような感覚で、のんびりと湾内をめぐる、SUPといったアクティビティが楽しめます。海上遊歩道は無料。
☎0735-59-2200 ⑤東牟婁郡太地町森浦685-27 ⑥JR太地駅から太地町営じゅんかんバスで約2分、本浦下車徒歩1分 ⑦8時~17時(予約制。海上遊歩道は予約不要) ⑧カヤック レギュラーコース:大人(中学生以上)5000円~、子ども(3歳~小学生)3000円~
SUPコース:10歳以上3000円【MAP】P22C4



●海洋水族館 (マリナリウム)

トンネル水槽には、他の水族館ではあまり見ることができないマダライルカやアルビノのバンドウイルカが飼育されている。



頭上をイルカが泳ぐ光景は幻想的

●イルカショー

かわいいイルカたちによる、スピーディーでダイナミックなショーは必見。ショーの後にはイルカと直接ふれあうこともできる。約15分。
⑨9時30分、11時30分、13時30分、15時30分。キョートなイルカたちが大活躍
⑩無料(入館料は必要)



ショーの後に行われる「イルカにタッチ」(300円)

●クジラショー

自然の入江を仕切ったクジラショーエリアで開催。小型クジラが迫力あるパフォーマンスを繰り広げる。約15分。
⑨10時30分、12時30分、14時30分 ⑩無料(入館料は必要) ⑪豪快なジャンプも見られる



クジラやイルカとふれあうこともできる博物館

吹き抜けの天井から吊るされたセミクジラの実物大模型は大迫力



古式捕鯨で鯨を追った勢子舟の部材。太地町文化財に指定されている

鯨を発見するのに使われた望遠鏡など古式捕鯨の道具も興味深い

●博物館本館

古式捕鯨業時代から現代までの捕鯨にまつわる各種資料を展示。骨格標本をはじめ鯨の生態に関する資料も見られる。3階まで吹き抜けになったホール天井から吊るされた、実物大の約15mのセミクジラや古式捕鯨に用いられた舟の模型は圧巻。



太地町立 くじらの博物館

●たいじちよりつくじらのほくぶつかん

古くからクジラと関わりをもってきた太地町にある、世界でも数少ない鯨類に特化した博物館で、本館には鯨に関するさまざまな資料を展示。入江を利用した自然プールでは、クジラやイルカのショー、ふれあいイベントを開催している。
☎0735-59-2400 ⑤東牟婁郡太地町太地2934-2 ⑥JR太地駅から太地町営じゅんかんバスで約5分、くじら館下車すぐ ⑦8時30分~17時 ⑧無休 ⑨大人1800円、小・中学生900円【MAP】P22C4



●ふれあいイベント



カヤックアドベンチャー

カヤックに乗ってクジラたちに大接近。まさに間近で観察でき、エサをあげることもできる。所要約10分。
⑨9時~16時 ⑩1000円(2025年4月~1200円)

餌あげ体験

ふれあい桟橋からクジラやイルカにエサをあげて、大きな口の中を観察。手軽にふれあいたい人におすすめ。
⑨9時~16時 ⑩300円

ビーチでふれあい

トレーナーと一緒に浅い海の中へ。目の前のイルカに優しく触れて、大きさや動きを体感できる。所要約5分。
⑨9時~16時 ⑩1000円(2025年4月~1200円) ※参加条件は身長120cm以上



※ふれあいイベント、クジラ・イルカショーは、天候や、動物の体調により中止される場合があります。 8